

上越市の部活動地域移行に向けての取組について

上越市教育委員会学校教育課

1 部活動の意義と課題

- ◇ 生徒の自主性、自発的な参加により行われるものであり、学校教育の一環として学習指導要領上に位置付けられた活動である。
- ◇ スポーツ、芸術文化等の幅広い活動機会であり、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会でもある。
- ◇ 多様な生徒が活躍できる場であり、豊かな学校生活を実現する役割がある。
- 設置・運営は、法律上の義務として求められるものではなく、必ずしも教師が担う必要のない業務である。
- 教師の献身的な勤務によって支えられており、長時間勤務の要因であることや指導経験がない教師には多大な負担となっている場合もある。

2 今後の予定

(1) 検討委員会の設置について

- 教育に関わる有識者をはじめ、PTA 及び学校の代表者、小・中学校体育連盟、スポーツ団体及び文化団体の代表者、教育委員などで構成する「上越市部活動改革に関する検討委員会（仮称）」を開催し検討する。第1回は7月19日、第2回は9月、第3回は11月を予定している。

(2) 課題について

①生徒、保護者、関係者等への周知

- 改革の概要、市内中学校における運動部活動の現状等について、総合型地域スポーツクラブや市小中学校 PTA 連絡協議会等に対して説明の機会を設けた。今後も機会を捉え必要に応じて意見交換等を行う。
- 小学5、6年生及び中学生の生徒・保護者の皆様へは、「部活動改革だより」を発行し、改革の概要について、お知らせした。今後も定期的な発行により周知を図り、理解を促す。
- 教職員へは、「部活動改革だより」を発行し、現時点での今後の予定について周知するとともに、部活動に係るアンケートを実施し、部活動に係る放課後の勤務実態、教職員の部活動指導に対する意思の有無などについて調査した。この結果を踏まえ、教職員の部活動に係る兼職兼業の枠組みについて検討する。

②受益者負担

- 今後の国の動向を注視しながら、補助制度や減免制度などの必要な支援について、慎重に検討する。

③中体連主催大会への参加

- 今後、地域移行を見据えた全国中学校体育大会の参加要件が示される中で、クラブチーム等での参加要件を受け皿となる団体と共有し、その内容に応じて対応する。

④生徒のニーズを踏まえた地域移行

- 部活動を地域へ移行する中で、生徒の多様なニーズに応えられるように、生徒・保護者の部活動に関するニーズなどを把握する。
- 7月～8月に生徒及び保護者にアンケート調査を実施する。

部活動担当に係るアンケート（集計結果 学校教育課）

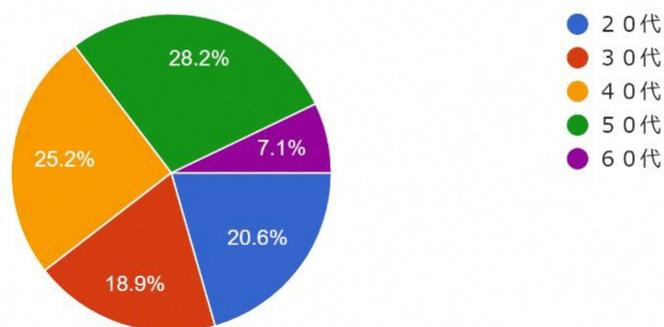
アンケート対象：市内中学校教職員 381 人（主幹教諭、教諭、助教諭、養護教諭、講師）

実施期日：令和 4 年 5 月 20 日～ 30 日

回収総数：238 人

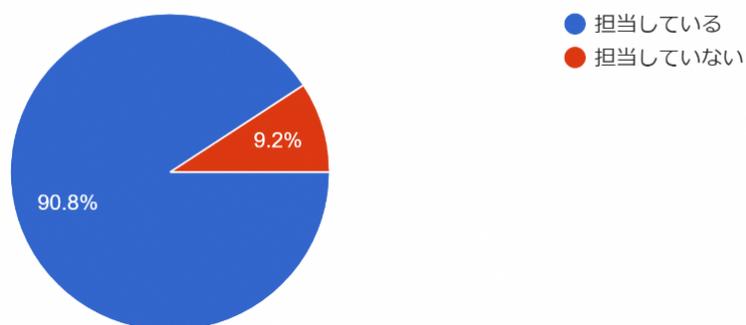
0 ご自身の年代をお答えください。

238 件の回答



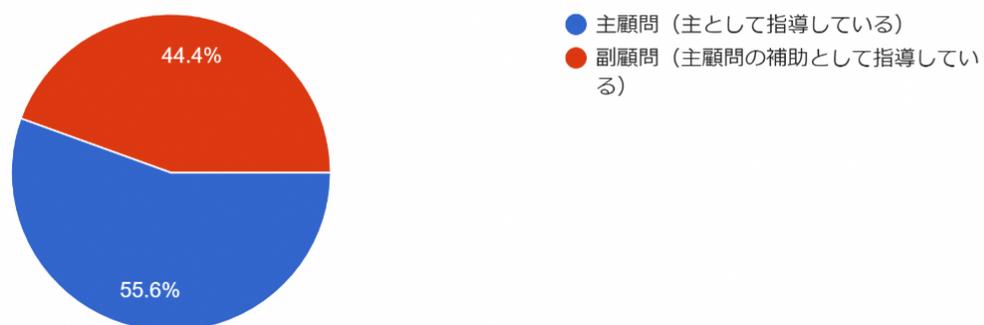
1 部活動担当の有無について、1つお選びください。（全員お答えください）

238 件の回答



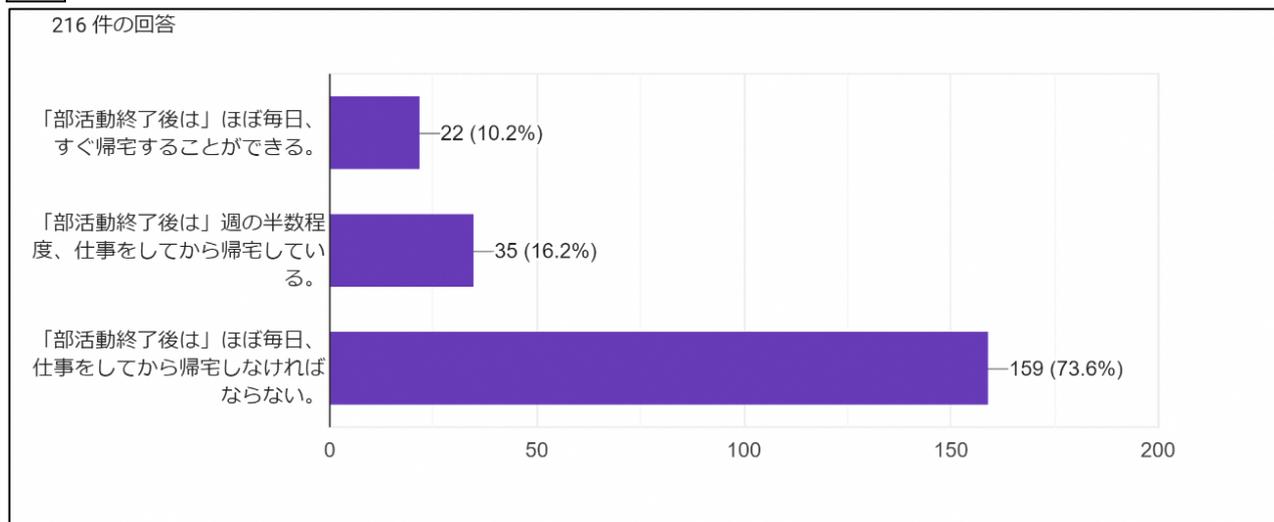
1-1上記1で「担当している」と回答した職員のみ、1つお選びください。

216 件の回答



1-2 上記1で「担当している」と回答した職員のみ、1つ〇を付けてください。

全体



- ・ 担当する部活動がある教職員の159人（73.6%）が部活動終了後、「ほぼ毎日仕事をしてから帰宅しなければならない」と回答している。

主顧問

- ① 「部活動終了後は」ほぼ毎日、すぐ帰宅することができる。（ 3人 ）
- ② 「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。（ 12人 ）
- ③ 「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。（ 105人 ）

- ・ 主顧問を担当する教職員の105人（87.5%）が部活動終了後、「ほぼ毎日仕事をしてから帰宅しなければならない」と回答している。

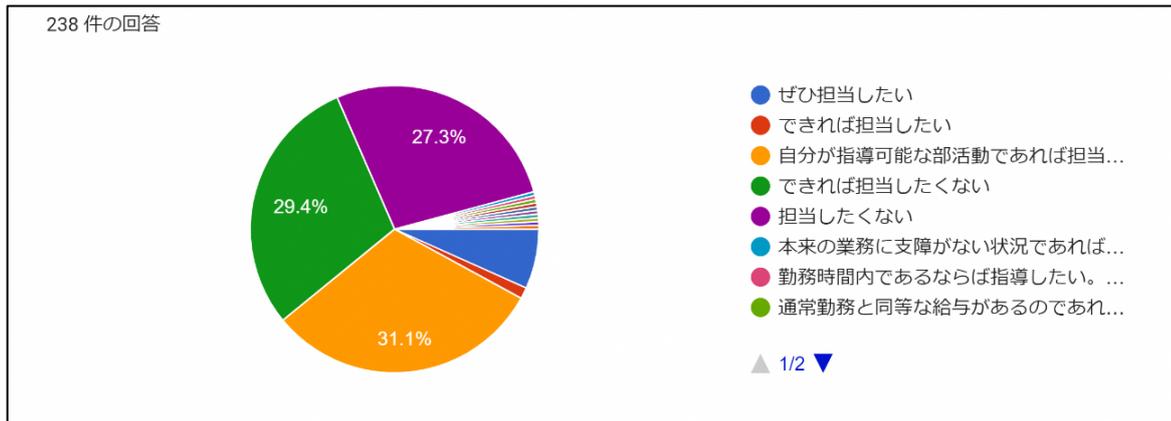
副顧問

- ① 「部活動終了後は」ほぼ毎日、すぐ帰宅することができる。（ 19人 ）
- ② 「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。（ 23人 ）
- ③ 「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。（ 54人 ）

- ・ 副顧問を担当する教職員の54人（56.8%）が部活動終了後、「ほぼ毎日仕事をしてから帰宅しなければならない」と回答している。

2 部活動を担当することについて、1つ〇を付けてください。(全員お答えください)

全体



主顧問

- | | | |
|------------------------|----------|-------|
| ① ぜひ担当したい | (15 人) | 12.5% |
| ② できれば担当したい | (3 人) | 2.5% |
| ③ 自分が指導可能な部活動であれば担当したい | (42 人) | 35.0% |
| ④ できれば担当したくない | (29 人) | 24.2% |
| ⑤ 担当したくない | (25 人) | 20.8% |
| ⑥ その他 | (6 人) | 5.0% |

- ・ 何の知識も技能もなく指導できないのに主顧問をすとか生徒にとってはよくないと思うので、私は担当したくないです。しかし専門的な知識や技能を持っている方は、担当したいと答える人が多いと思います。
- ・ 勤務時間内であるならば指導したい。 / 部活動手当が手厚くなれば指導したい。
- ・ 仕事だから (やるのであれば、自分が指導可能な部をもちたい)。
- ・ 担当したいという訳ではないが、指導可能な部活動であれば指導してもよい。
- ・ 通常勤務と同等な給与があるのであれば喜んで担当します。
- ・ どちらともいえない。

副顧問

- | | | |
|------------------------|----------|-------|
| ① ぜひ担当したい | (1 人) | 1.0% |
| ② できれば担当したい | (0 人) | |
| ③ 自分が指導可能な部活動であれば担当したい | (29 人) | 30.2% |
| ④ できれば担当したくない | (34 人) | 35.4% |
| ⑤ 担当したくない | (29 人) | 30.2% |
| ⑥ その他 | (3 人) | 3.1% |

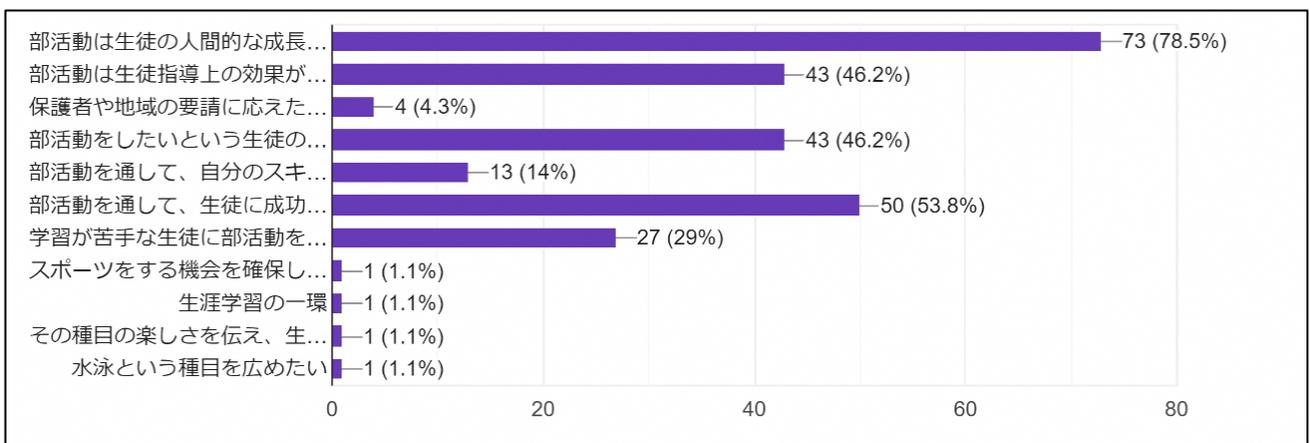
- ・ 勤務時間内であれば可
- ・ 「教師は部活動を担当することが当たり前」の現状をすぐに改めるべき。部活動改革には保護者の意識変容が必須。「してもらって当たり前」の感覚の保護者が多いが、それが教師のタダ働きで成立していることをもっと広報すべきだと考えます。
- ・ したい部活だけをさせてもらえればよい (したくない部活はしたくない)

・ 顧問の 45.0%、副顧問の 65.6%が「できれば担当したくない」「担当したくない」と回答していることから、教職員の半数以上が本位とは異なり、部活動に従事している可能性が推測される。

・ 「ぜひ担当したい」「できれば担当したい」「指導可能な部活動であれば担当したい」と回答する教職員が 100 人いることから、勤務状況によっては、地域移行後の指導者として見込める可能性がある。

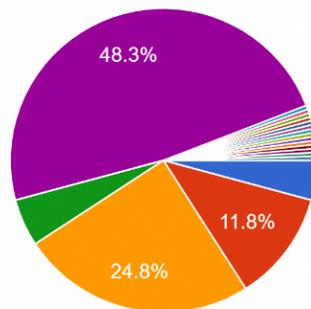
2-1 上記①「ぜひ担当したい」②「できれば担当したい」③「自分が指導可能な部活動であれば担当したい」と回答した職員のみ、その理由について、最も当てはまるものを3つ選んで（「その他」を選んだ場合も一つとカウントします）○を付けてください。

- ① 部活動は生徒の人間的な成長に有効である。 (73 人)
- ② 部活動は生徒指導上の効果大きい。 (43 人)
- ③ 保護者や地域の要請に応えたい。 (4 人)
- ④ 部活動をしたいという生徒の希望に応えたい。 (43 人)
- ⑤ 部活動を通して、自分のスキルを伝えたい。 (13 人)
- ⑥ 部活動を通して、生徒に成功体験を積ませたい。 (50 人)
- ⑦ 学習が苦手な生徒に部活動を通して自信をつけさせたい。 (27 人)
- ⑧ その他 (5 人)



3 将来的に部活動はどのように実施する方がよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選択してください。

238 件の回答



- 現状のとおりでよい。
 - 平日は学校が担い、週休日は社会体育...
 - 平日の勤務時間内についてのみ学校が...
 - 時間を超えた場合は、社会体育等が担...
 - 部活動は完全に学校から切り離し、全...
 - 社会体育に移しても指導者の確保が問...
 - 吹奏楽を地域移行して切り離すのは、...
 - 部活動を学校から切り離す方が良いと...
- ▲ 1/3 ▼

- ① 現状のとおりでよい。 (10 人)
 - ② 平日は学校が担い、週休日は社会体育等が担う方がよい。 (28 人)
 - ③ 平日の勤務時間内についてのみ学校が担い、週休日及び勤務時間を超えた場合は、社会体育等が担うのがよい。 (59 人)
 - ④ 時間を超えた場合は、社会体育等が担うのがよい。 (12 人)
 - ⑤ 部活動は完全に学校から切り離し、全て社会体育等が担うのがよい。 (115 人)
 - ⑥ その他 (14 人)
- ・ 学校から切り離すのはよいが、社会体育が良いかはわからない
 - ・ 学校職員を午前出勤（授業のみ）と午後出勤（授業と部活動）の2交代制にする。
 - ・ 基本的には学校から切り離すべきだと思います。でも教員で指導したい人もいるでしょうから、中学校区ごとに部活動指導可能教員を社会体育枠？にエントリーするシステムを作って、社会体育ベースで部活指導をするのはどうでしょうか。
 - ・ 休日、時間外いずれにしても、受け皿ができていない。経費や場所、指導者にそれに対する報酬そこがはっきりしないのでは移行が難しいと思う。
 - ・ 社会体育に移しても指導者の確保が問題になります。勤務時間に見合った賃金が支払われる。もしくは、学校から切り離し廃止にすることのどちらかだと思います。
 - ・ 手当が充実するとよい。
 - ・ 吹奏楽を地域移行して切り離すのは、厳しいと考える。
 - ・ 全て社会体育等が担うが、希望する教員が参画しやすいようにする。
 - ・ 地域に移行し、担当したい職員は部活ができる制度を整備する。
 - ・ 地域部活動にどうしても移行できない部活動は、結局教師が面倒をみることになると思う。そこをななめにしないで労働に対する対価を保証してほしい。教師のタダ働きで成立する部活動はもうシステムとして破綻していると思う。
 - ・ 任意制にした上で、民間と同じ水準の時間報酬を支払う（勤務時間外なので、平日、休日共に。))
 - ・ 部活動を学校から切り離す方がよいと考えるが、現状では社会体育にすべて任せられるとは思えない。十分な経済的な手当がないと引き受け手がいらないと思われる
 - ・ 部活動を教員が担うことのできる制度、体制が確立されるとよいと思う。
 - ・ 平日と休日で指導者が変わるとトラブルになったケースがある。学校職員の勤務状況を改善しながら現状通り部活動を運営するか、学校から完全に切り離すか、どちらかにした方がよいと思う。

クロス集計

2 部活動を担当することについて、1つ〇を付けてください。(全員お答えください)

2-1 上記①「ぜひ担当したい」②「できれば担当したい」③「自分が指導可能な部活動であれば担当したい」と回答した職員のみ、その理由について、最も当てはまるものを3つ選んで(「その他」を選んだ場合も一つとカウントします)〇を付けてください。

【顧問】

1-2 \ 2	「部活動終了後は」ほぼ毎日、すぐ帰宅することができる。	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。
①ぜひ担当したい	-	4	11
②できれば担当したい	-	5	3
③自分が指導可能な部活動であれば担当したい	-	2	37
④できれば担当したくない	2	1	25
⑤担当したくない	1	-	24
⑥その他	-	-	5

【副顧問】

1-2 \ 2	「部活動終了後は」ほぼ毎日、すぐ帰宅することができる。	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。
①ぜひ担当したい	-	-	1
②できれば担当したい	-	-	-
③自分が指導可能な部活動であれば担当したい	5	11	13
④できれば担当したくない	8	9	17
⑤担当したくない	4	3	22
⑥その他	2	0	1

【担当していない】

1-2 \ 2	「部活動終了後は」ほぼ毎日、すぐ帰宅することができる。	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。
①ぜひ担当したい	-	-	-
②できれば担当したい	-	-	-
③自分が指導可能な部活動であれば担当したい	3	-	-
④できれば担当したくない	7	-	-
⑤担当したくない	11	-	-
⑥その他	1	-	-

・「①ぜひ担当したい」「②できれば担当したい」「③自分が指導可能な部活動であれば担当したい」と回答した教職員の中で、『「部活動終了後は」ほぼ毎日、すぐ帰宅することができる。』は8人(全体3.4%)『「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。』は22人(全体9.2%)である。

「部活動の担当を希望する」と答えた教職員が現在所属する部活動等

資料 4 - 2

年代	担当の有無	現在の部活	主顧問、副顧問	放課後の勤務実態	指導の意志
20代	担当している	アルペンスキー部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
40代	担当している	サッカー	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、すぐ帰宅することができる。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
30代	担当している	ソフトテニス	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
30代	担当している	ソフトテニス	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
50代	担当している	ソフトテニス	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
30代	担当している	ソフトテニス	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	ソフトテニス部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
60代	担当している	ソフトテニス部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	ソフトボール部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
30代	担当している	ソフトボール部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	担当したいという訳ではないが、指導可能な部活動であれば指導してもよい。
30代	担当している	バスケットボール	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	ぜひ担当したい
20代	担当している	バスケットボール	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	ぜひ担当したい
50代	担当している	バスケットボール	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
60代	担当している	バスケットボール	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
30代	担当している	バスケットボール	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
40代	担当している	バスケットボール	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
40代	担当している	バスケットボール（女子）	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	バドミントン部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
50代	担当している	バレーボール	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
50代	担当している	バレーボール	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
40代	担当している	バレーボール	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
50代	担当している	バレーボール部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	ぜひ担当したい
40代	担当している	バレーボール部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、すぐ帰宅することができる。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい

年代	担当の有無	現在の部活	主顧問、副顧問	放課後の勤務実態	指導の意志
40代	担当している	吹奏楽部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
50代	担当している	水泳	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	ぜひ担当したい
30代	担当している	水泳部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	水泳部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
60代	担当している	卓球	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	ぜひ担当したい
40代	担当している	卓球	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
50代	担当している	卓球部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
40代	担当している	卓球部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	卓球部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	男子ソフトテニス部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	男子バスケットボール部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	ぜひ担当したい
30代	担当している	男子バスケットボール部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
30代	担当している	男子卓球部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
60代	担当している	特設陸上	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	どちらともいえない
50代	担当している	美術部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	ぜひ担当したい
40代	担当している	美術部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
50代	担当している	美術部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
50代	担当している	美術部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
40代	担当している	文化	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	したい部活だけをさせてもらえればいい（したくない部活はしたくない）
60代	担当している	文化部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、すぐ帰宅することができる。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
50代	担当している	野球	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
30代	担当している	野球部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	野球部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	通常勤務と同等な給与があるのであれば喜んで担当します
20代	担当している	野球部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	ぜひ担当したい
50代	担当している	野球部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	ぜひ担当したい

年代	担当の有無	現在の部活	主顧問、副顧問	放課後の勤務実態	指導の意志
20代	担当している	野球部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
30代	担当している	野球部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
40代	担当している	野球部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	野球部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
60代	担当している	理科部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、すぐ帰宅することができる。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
40代	担当している	陸上	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」週の半数程度、仕事をしてから帰宅している。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
40代	担当している	陸上競技	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	ぜひ担当したい
30代	担当している	陸上競技	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	ぜひ担当したい
30代	担当している	陸上競技、駅伝、XCスキー	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
40代	担当している	陸上競技部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	仕事だから（やるのであれば、自分が指導可能な部をもちたい。）。
30代	担当している	陸上競技部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
30代	担当している	陸上競技部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
30代	担当している	陸上競技部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	陸上競技部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	陸上競技部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	陸上競技部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
50代	担当している	陸上競技部、バレーボール部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
20代	担当している	陸上部	主顧問（主として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	ぜひ担当したい
30代	担当している	陸上部	副顧問（主顧問の補助として指導している）	「部活動終了後は」ほぼ毎日、仕事をしてから帰宅しなければならない。	自分が指導可能な部活動であれば担当したい
60代	担当していない				自分が指導可能な部活動であれば担当したい
30代	担当していない				自分が指導可能な部活動であれば担当したい
40代	担当していない				自分が指導可能な部活動であれば担当したい
50代	担当していない				本来の業務に支障がない状況であれば担当してみたい

◇第3次総合教育プランの策定に向けた第2次総合教育プランの点検・評価について

施策	主な事業（令和3年度）	課題	今後の取組	施策の展開の方向性
生涯スポーツ活動の充実 【目標】 スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等と連携して地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図る。	○スポーツ活動の普及推進 ・子どもの体力づくり運動の普及 ・スポーツ推進委員の活動を促進 ・上越体操場ジムリーナを活用したスポーツ活動の推進 ・東京オリンピック・パラリンピック関連事業 ・全国高等学校総合体育大会の開催	・市内におけるスポーツイベントの参加率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、高田城ロードレースやファミリー綱引大会など、多くの人が参加するイベントが中止となり、成果指標に掲げた数値目標を達成することが出来なかった。新しい生活様式を踏まえたイベント開催の在り方を模索することが課題である。	・スポーツや健康に対する意識の高揚を図りながら、市民のスポーツ活動の推進を図るため、新しい生活様式を踏まえたスポーツ教室やイベントの実施、大会の開催を支援する。	・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催やホストタウンの取組によるスポーツへの関心、健康志向や持続可能な社会などのスポーツに対する期待への高まりを契機に、各スポーツ団体と連携し、組織的に健康増進や体力づくり、余暇活動に寄与する幅広いスポーツ活動を推進する。
	○市スポーツ協会、各種スポーツ団体への支援 ・各種補助事業の実施	・人口減少や少子高齢化のほか、余暇活動の多様化などにより、団体の会員数の減少は顕著である。	・会員数の減少などにより、各スポーツ団体の体制を維持していくことが困難になりつつあることから、総合型地域スポーツクラブ等とともに、各スポーツ団体が組織的な連携を図り、持続可能なスポーツ活動の普及推進ができる体制の構築を促す。	・生涯スポーツを通じて、市民の心と身体の健康を育み、人と人との繋がりやまちの活力の向上を始めとする多様な効果を発揮させるため、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブなどと連携し、スポーツの習慣化や健康増進などに寄与する幅広いスポーツ活動を推進する。
	○総合型スポーツクラブの育成・支援 ・上越SCネットへの支援 ・総合型地域スポーツクラブ未設置区域を対象とした市主催の教室の実施	・人口減少や少子高齢化のほか、余暇活動の多様化などにより、団体の会員数の減少は顕著である。	・会員数の減少などにより、各スポーツ団体の体制を維持していくことが困難になりつつあることから、上越市スポーツ協会等とともに、各スポーツ団体が組織的な連携を図り、持続可能なスポーツ活動の普及推進ができる体制の構築を促す。	・生涯スポーツを通じて、市民の心と身体の健康を育み、人と人との繋がりやまちの活力の向上を始めとする多様な効果を発揮させるため、市スポーツ協会、スポーツ推進委員などと連携し、スポーツの習慣化や健康増進などに寄与する幅広いスポーツ活動を推進する。
競技スポーツの発展 【目標】 各種スポーツの競技人口を踏まえつつ、関連競技団体と連携を図りながらアスリート育成強化等に取り組み、スポーツ競技力の向上を図るとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリンピック」という。）の開催の機会を捉え、関連施策と連携を図りながら、市民によるスポーツ活動の推進と競技力の向上を図る。	○スポーツ競技力の向上、アスリート育成強化の推進 ・年齢や学校の枠を超えた指導体制によるトップアスリートの育成 ・上越市を拠点としたスポーツアスリートの育成 ・スポーツ活動サポート事業 ・スポーツ振興奨励金 ・スポーツ指導者養成事業 ・日本体育大学連携事業	・ジュニア世代から体を動かす習慣や基礎的な体力を身に付けるとともに、競技力の向上を図るため、ジュニア選手の競技力の向上と指導者の指導技術の習得を図る取組を継続する必要がある。 ・スポーツ活動の推進と競技力の向上を図るため、運動部活動を支援する必要がある。 ・学校の働き方改革を踏まえた部活動改革に伴い、本市において必要な仕組を検討する必要がある。	・上越市スポーツ協会と連携し、ジュニア選手の競技力の向上と指導者の指導技術の習得を図る取組を支援する。 ・小・中学校におけるスポーツ活動の指導体制を踏まえ、各競技団体と連携し、専門的な指導技術を有する外部指導者を派遣し、運動部活動を支援する。 ・学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について、国の動向や学校の実情を踏まえながら、本市において必要な仕組を市内スポーツ団体とともに検討を進める。	・各種スポーツの競技人口の拡大や競技力の向上を図るため、市内外の競技団体と連携しながら、年齢や学校の枠を超えた一貫指導体制を推進し、国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成強化に取り組む。
スポーツ環境の整備 【目標】 スポーツ関連施設の老朽化に適切に対応するとともに、ライフステージに応じた市民ニーズを踏まえ、安全かつ快適なスポーツ環境を提供します。	○体育施設の安全性や快適性の確保 ・上越市総合体育館及び上越勤労身体障害者体育館大規模改修工事 ・高田城址公園弓道場塗装工事 ・上越総合運動公園テニスコート塗装修繕及びクランク改修工事 ・金谷山公園看板設置工事	・老朽化が進む体育施設の維持管理において、「公の施設の適正配置計画（令和2年度策定）」に基づき、現状維持とした施設について、突発的な不具合に対する修繕をはじめ、長寿命化を図るための改修及び各競技ルール改正などを踏まえ、引き続き適正に管理していく必要がある。	・突発的な不具合に対する修繕をはじめ、長寿命化を図るための改修及び各競技ルールの改正などを踏まえ、不具合に対する修繕を、利用者への支障も最小限にするよう迅速に行っていく。	・安全で快適なスポーツ環境を維持していくため、施設や設備、用具の機能維持に努める。 ・また、これからの市民ニーズを的確に捉え、体育施設の更新等を含めて整理していく。
	○体育施設の適正配置の推進 令和4年3月31日廃止 ・浦川原運動広場（野球場、トレーニング棟） ・清里中学校屋外運動場（照明設備）	・老朽化が進む体育施設の維持管理において、「公の施設の適正配置計画（令和2年度策定）」に基づき、廃止等とした施設について、計画的な実施のため、関係者協議を慎重に進める必要がある。 ・また、これからの市民ニーズを的確に捉え、体育施設の更新等を含めて整理していくとともに、廃止後の施設及び土地の有効的な利活用を検討していく必要がある。	・「公の施設の適正配置計画（令和2年度策定）」に基づき、廃止等とした施設について、計画的に事業を進める。 ・また、廃止後の施設及び土地の有効的な利活用を検討していく。	利用実態やニーズの変化などを踏まえ、計画的に施設の統廃合や機能の拡充、新たな施設の整備など、体育施設の適正配置に取り組む。

令和 4 年度スポーツ推進審議会の日程（案）

第 1 回審議会 7 月 8 日（金）

報告事項

- （1）令和 3 年度スポーツ推進事業の実施結果について
- （2）上越市第 2 次総合教育プラン後期計画に基づく令和 4 年度の取組について
- （3）学校の働き方改革を踏まえた部活動改革に係る休日部活動の段階的な地域移行について

議 題

- （1）第 3 次総合教育プランの策定に向けた第 2 次総合教育プランの点検・評価について

第 2 回審議会 9 月上旬

報告事項

- （1）学校の働き方改革を踏まえた部活動改革に係る休日部活動の段階的な地域移行について

議 題

- （1）第 3 次総合教育プランの策定に向けた検討について

第 3 回審議会 11 月上旬

報告事項

- （1）上越市第 2 次総合教育プラン後期計画に基づく令和 4 年度実施状況について（上半期実績）

議 題

- （1）第 3 次総合教育プランの策定に向けた検討について

第 4 回審議会 12 月中旬

報告事項

- （1）学校の働き方改革を踏まえた部活動改革に係る休日部活動の段階的な地域移行について

議 題

- （1）第 3 次総合教育プランに係るスポーツ施策について

第 5 回審議会 3 月中旬

報告事項

- （1）上越市第 2 次総合教育プラン後期計画に基づく令和 4 年度実施状況について（見込み）

議 題

- （1）第 3 次総合教育プランに係るスポーツ施策の令和 5 年度における取組について